

NUBIC知的財産情報開示

開示日： 2009年11月10日

各位

NUBIC知的財産情報の要約をお届けいたします。
尚、NUBICベンチャークラブ特別会員、一般会員にはすでにお知らせしています。

	NUBIC管理番号: <input type="text" value="2009000039"/>	整理番号 <input type="text" value="11405"/>	担当者 <input type="text" value="松岡 義人"/>
表 題	<input type="text" value="新規ヒトマスト細胞活性化阻害ペプチド"/>		
技術分野	<input type="text" value="化学・薬品"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
適用製品	<input type="text" value="アレルギー性鼻炎・結膜炎・喘息, アトピー性皮膚炎などのアレルギー疾患の治療薬"/>		
目 的	<input type="text" value="アレルギー性鼻炎, アレルギー性結膜炎, アレルギー性喘息, アトピー性皮膚炎などはI型アレルギー反応の代表的疾患であるが, その病態の中心的役割を果たしているマスト細胞のIgE依存性の活性化を特異的に阻害するペプチドをアレルギー疾患の新規治療薬として提供する。"/>		
技術概要	<input type="text" value="マスト細胞は即時型のアレルギー反応を惹起するのみならず, マスト細胞の産生, 放出するケモカインやサイトカイン, ロイコトリエンなどのメディエーターにより, 遅発型のアレルギー反応および慢性炎症を惹起する, 炎症のコンダクターであり, マスト細胞の制御が治療の一つの鍵になる。現在のマスト細胞活性化阻害薬はげっ歯類のマスト細胞の活性化は抑制するが, ヒトマスト細胞の活性化に対しての抑制効果はない。唯一, ヒト化された抗ヒトIgE抗体はIgEと高親和性IgE受容体Fc epsilon RIの結合を阻害し, ヒトマスト細胞の活性化を阻害するが, 極めて高価である。今回, 我々はFc epsilon RI beta鎖のITAM motifのチロシン残基をリン酸化させたペプチドを細胞膜透過性ペプチドと結合させ, ヒトマスト細胞に導入すると, IgE依存性のヒトマスト細胞の活性化をほぼ完全に抑制した。したがってこのペプチドは新規アレルギー疾患の治療薬となりうる。"/>		

技術移転等をご希望の場合は, 下記事項をご記入の上, 本用紙にてお申込みください。

(FAX, e-mail, 郵送いずれでも可。)

各担当コーディネーターからご連絡を差し上げます。

面談希望日時	<input type="text"/>		
(ふりがな) 氏 名	<input type="text"/>		
会社名	<input type="text"/>		
所 属	<input type="text"/>	役職	<input type="text"/>
電話番号	<input type="text"/>	FAX番号	<input type="text"/>
E-mail	<input type="text"/>		
連絡事項	<input type="text"/>		



【申込み・問い合わせ先】

日本大学産官学連携知財センター (NUBIC)

〒102-8275 東京都千代田区九段南4-8-24 日本大学会館

TEL:03-5275-8139 FAX:03-5275-8328 E-mail:nubic@nihon-u.ac.jp